

平成30年若手グループ夏季行事「夏休み理科教室」報告

化学部会 若手グループ

1. 概要

- 開催日時： 平成30年7月28日（土）10時00分～12時00分
 - 開催場所： 滝野川会館301集会室
 - 会 費： 児童一人当たり500円
 - 参加者： 参加児童数 12名、保護者 11名
- | | | |
|--|----------|-----|
| | 若手の会スタッフ | 11名 |
| | 合計 | 34名 |

2. プログラム

- 10:00～11:00 紫キャベツを使った実験
 - ①色素の抽出
 - ②pH 違いの材料を添加して色が変わる実験
 - ③弱酸 + 弱アルカリ性のものを混ぜる中和実験
- 11:00～11:30 「味」と「色」についての講義
- 11:30～12:00 アンケート記入、解散

3. 費用

<収入>

参加費	6,000円	（参加児童数12名×500円）
-----	--------	-----------------

合 計	6,000円
-----	--------

<支出>

材料費	17,538円
会議室代(+プロジェクター代)	7,880円
資料印刷代	8,270円
実験道具輸送代	10,007円
レクレーション保険 (含振込手数料)	1,965円
白衣クリーニング代	1,581円
懇親会補助	400円

合 計	47,641円
-----	---------

収支	▲41,641円
	(繰越残金 17,052円)

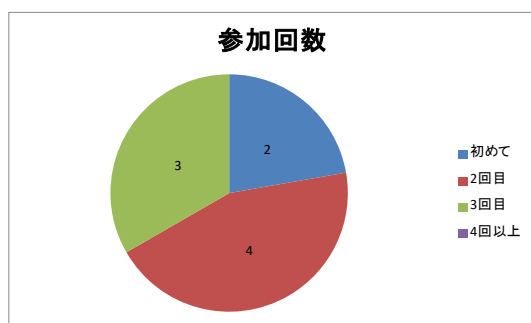
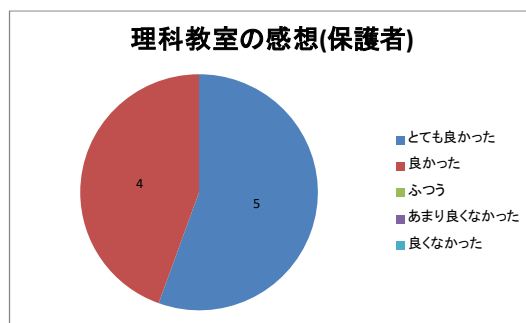
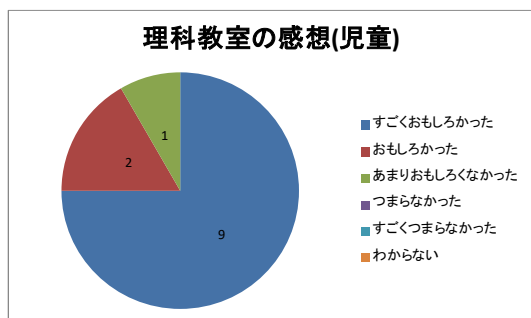
4. 特記事項

- ・本理科教室は、i) 子供の理科離れ抑制、ii) 技術士の知名度向上、を目的としている。そのため、一般の参加者を対象とした。
- ・一般からの参加者を募集するために、募集用のパンフレットを作成し、北区周辺の小学校への配布を行った。申し込みが容易にできるように、Googleフォームを活用した。
- ・本年は、東京都北区の滝野川会館で実施した。機械振興会館からは、以下の理由により、理科教室の開催を拒絶された。1) 会議室で実験のような危険を伴う活動をすること、2) 対象が小学生であること。特に 2) について、騒音等で他の講習会への影響が大きい、ということ懸念された。(工

作がメインの青年委員会でも、2)を理由として拒絶された)

- ・ 本年は、若手の会で中心となって活動しているスタッフの負担を軽減するため、青年委員会と共同で実施した。
- ・ 実験としては、紫キャベツから色素を取り出し、いろいろなものを混ぜて色が変わる実験を行った。色が変わること、pHとの関係、色が変わるしくみなどを勉強した。
- ・ 本年もリピーターが多かったこと、またアンケート結果より本年も非常に好評であった。

5. アンケート結果 (数字は回答数)



子供たちの感想

- ・ 酸性、アルカリ性によって色が変わるところが面白かった(小4・男子)
- ・ 紫キャベツにいろいろなものを入れたのが面白かった(小2・女子)
- ・ レモンや重曹を入れた時に色が変わったところが面白かった(小4・女子)

保護者からの意見

- ・ 優れた知識を子供達に教えてくれる貴重な場だと感じます。これからも続けて欲しいと思います。一つ思うのは対象を小学生という大括りにするとどこのレベルに合わせて良いのか難しいだろうなと感じます。低学年と高学年とざっくり分けても良いかもしれません。
- ・ 親子共々勉強になりました。まとめ方等別途ご相談させて下さい。貴重な経験となりました。また来年も宜しくお願い致します。
- ・ 技術士の方々が優しく丁寧に教えて下さったので子供も楽しく実験に取り組むことができ安心して参加できる教室だと感じました。



紫キャベツから色素を抽出



抽出した色素の水溶液に、様々なものを添加して色の変化を観察



実験の様子



観察結果をスケッチ



pH 計で pH を実測



スタッフ集合写真

以 上